

特集：「キラリ！」子育て奮闘中の公務員獣医師のママたち

公務員獣医師就職のお問合せはこちらへ。

(連絡先) ↓

大分県生活環境部 食品安全・衛生課

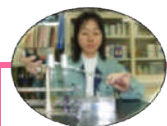
①電話 097-506-3052 (平日8:30-17:15)

②FAX 097-506-1743

③メール a13900@pref.oita.lg.jp

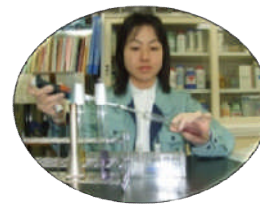


FAX、メールの場合、こちらからご連絡を致します。



大分県では、現在、女性公衆衛生獣医師3名が頑張っています。  
今回は、食肉衛生検査所に勤務している2名の実体験をご紹介します。

- 職・氏名 奈須直子 主任
- 出身大学 麻布大学
- 県採用年 H13年 4月



- 職・氏名 田代潔子 主査
- 出身大学 日本大学
- 県採用年 H15年10月



大分県に入り10年になりますが、その間に結婚、出産、子育てという人生の大イベントを経験しました。就職先を決める際、獣医師をめざすきっかけとなった動物病院にするか、地元の大分に戻り、公務員になるか…とても悩みましたが、私を最終的に決断させたのは「ずっと働きたい」という想いでした。

動物病院は、出産等で退職することもあるけれど、公務員の場合は、育児休暇制度が利用できる、職場復帰もできる。週休2日制なので無理せずに最後まで働くことができる。

今、2人の子育てをする中、私が公務員を選んだ決断は正しかったと感じています。

これまで、1年2ヶ月の産前産後休暇や育児休暇を2回取得し、職場復帰後も、保育所に通う子供が病気になり急に休まなければならない時も、職場からは暖かい配慮をいただいています。

職場の先輩方も育児や出産で同じ経験を持ち、協力し合える体制を常にとってくださいます。時には子育てのアドバイスもいただき、大変心強いです。夫も県職員で、育児休暇を3ヶ月取得しました。職場復帰した私にかわり、専業主夫として子供と接したことは、お互いにかげがえのない経験となり、助け合うことの礎になっています。

今でも子供が病気の時は、交代で対応しており、県外出張も、子供を夫に預けて安心して行くことができます。

職場の方々も夫の育児をサポートしていただき、「子育てで一人で抱え込まなくても大丈夫」と感じています。夫や周囲の方々の配慮に、大変感謝しています。

県職員生活は、まだ25年あり、様々な出来事も起こると思いますが、「子育て満足度日本一」を掲げる大分県であれば、職場の方々の理解と協力で乗り越えていけると思っています。「ワークライフバランス」を実現できる大分県にぜひいらしてください！



私は、福岡県出身で平成9年に獣医師国家試験をパスした後、大分県に就職するまでの間、色々な仕事を行い、民間会社にもいたり…ですので、新卒の皆様の気持ちも十分にわかるつもりです。

今年で40才になる私の率直な気持ちをきいて下さい。

「大分県に就職して、本当に良かった。」温暖な気候、おいしい農産物、住みやすい環境、よそ者に寛容な土地柄etc…今、大学同期の実情をみると小動物臨床開業した友達(借金返済大変そう!)、開業のメドが立たず代診をしている友達(給料が安い!)、寒い地域で、大動物診療をしている友達(重労働!)など様々な人間模様がありますが、私の選択は間違っていないと確信します。

私には、子供が4人(高校生から保育園児)おりますが、不況真っ只中の状況でなんとか生きていけるのは、(これこそ、ライフワークバランス!)大分県職員であるためと日々感謝しています。

公衆衛生獣医師は、食肉衛生検査、食中毒予防など食品衛生、動物愛護、狂犬病予防、環境衛生などいずれも、県民生活に直結した、「やりがいのある仕事」と自負しています。はっきり言って、他職種に比べマイナス要素がありません。獣医師の皆様、大分県で共に働きましょう！

仕事風景



我が家の  
子供たち

